



ChacottCHAMPIONSHIPS 第41回全日本ジュニア新体操選手権大会
(2024年国際大会派遣選手選考会)

要 項

主催：公益財団法人 日本体操協会／特別協賛：チャコット株式会社
 主管：群馬県体操協会／後援：高崎市、公益財団法人 高崎財団
 協賛：株式会社ポーラ、伊藤超短波株式会社、TSP 太陽株式会社、株式会社コムズマ

1. 期日 2023年11月17日(金)～19日(日)

11月16日(木)	セッティング／個人公式練習／審判研修／代表者会議(参加団体)
11月17日(金)	オープニングセレモニー、男女個人総合競技前半種目(男子：スティック・リング／女子：フープ・ボール)
11月18日(土)	男女個人総合競技後半種目(男子：ロープ・クラブ／女子：クラブ・リボン)、男女個人競技表彰式
11月19日(日)	団体公式練習／男女団体競技(男子：徒手／女子：ボール5)、団体競技表彰式

2. 会場 高崎アリーナ 〒370-0846 群馬県高崎市下和田町四丁目1番18号 TEL027-329-5447

3. 出場資格と条件

- ① 2023年度、(公財)日本体操協会に選手登録した者としてします。
 - ② 男子は2023年4月2日現在に小学4年生から中学3年生の者としてします。
 - ③ 女子は2023年12月31日までに11歳から15歳になる者としてします。
 - ④ 次に該当するものは、全日本ジュニア新体操選手権大会に出場する資格を得ることができます。
- なお、各ブロックとも予選会を実施して下さい。

ブロック	個人競技						団体競技					
	男子			女子			男子			女子		
	順位	配当	計	順位	配当	計	順位	配当	計	順位	配当	計
北海道	上位3名	4	7	上位3名	0	3	上位1チーム	0	1	上位1チーム	0	1
東北	上位3名	3	6	上位3名	1	4	上位1チーム	2	3	上位1チーム	0	1
関東	上位3名	5	8	上位3名	7	10	上位1チーム	1	2	上位1チーム	5	6
北信越	上位3名	1	4	上位3名	2	5	上位1チーム	0	1	上位1チーム	0	1
東海	上位3名	4	7	上位3名	2	5	上位1チーム	0	1	上位1チーム	1	2
近畿	上位3名	1	4	上位3名	4	7	上位1チーム	0	1	上位1チーム	0	1
中国	上位3名	0	3	上位3名	0	3	上位1チーム	1	2	上位1チーム	1	2
四国	上位3名	0	3	上位3名	4	7	上位1チーム	0	1	上位1チーム	1	2
九州	上位3名	2	5	上位3名	0	3	上位1チーム	6	7	上位1チーム	2	3
クラブ選手権							上位3チーム		3	上位3チーム		3
合計	47名			47名			22チーム			22チーム		

- ⑤ 団体競技の出場は、同一所属から1チームのみとします。団体競技出場選手が個人競技にも出場することができます。
- ⑥ 男子団体競技は、1チーム最大8名の選手とします。
- ⑦ 女子団体競技は、1チーム最大6名の選手とします。
- ⑧ 男女個人競技は9ブロックからそれぞれ3名が出場できます。また、前年度の全日本ジュニア選手権大会での上位20名までの選手が所属したブロックに出場権を配当します。
- ⑨ **男子個人競技について、ブロックに配当されている枠の3名を2年続けて充当できないブロックに関しては3年目より1枠減枠するものとします。**またこれにより減枠される下限は2枠までとします。複枠を希望する際には当該年度のブロック予選大会の結果を男子新体操委員会に報告しその内容を協議した結果認めるものとします。またその際に下限の2枠まで減枠されていた場合は1枠のみの複枠とし、申請があった年度順次複枠していくものとします。余剰枠があった場合には昨年度の全日本ジュニアの成績に基づき12位のチームより順次配当するものとします。

- ⑩ 女子個人競技について、本会の事業において選手対象になった者がいるブロックでは、その選手のブロックからの次点選手が出場することができます(次点の選手に出場権を与える)。
- ⑪ 男女団体競技は9ブロックからそれぞれ1チームずつ出場できます。また、前年度の全日本ジュニア選手権大会での上位10チームが所属したブロックに出場権を配当します。
- ⑫ 女子団体競技は該当年度に実施される「全日本新体操クラブ団体選手権大会」ジュニアの部上位3チームにも出場権を与えます。通過にあたり同点の場合は、FIG競技規則に準じタイブレークを行います。なお、出場権を与えられたチームがそれぞれのブロックから既に出場権を得ている場合は、クラブ団体選手権大会成績より順次繰上げ出場となります(当該の出場資格の枠を繰り下げる)。
- ⑬ 男子団体競技は該当年度に実施される「クラブ選手権大会」ジュニア団体の部上位3チームにも出場権を与えます。通過にあたり同点の場合は、国内競技規則第32条に準じタイブレークを行います。なお、出場権を与えられたチームがそれぞれのブロックから既に出場権を得ている場合は、クラブ選手権大会成績より順次繰上げ出場となります(当該の出場資格の枠を繰り下げる)。
- ⑭ 女子「全日本新体操クラブ団体選手権大会」及び男子「クラブ選手権大会」で出場権を獲得したチームは、次年度のブロック枠獲得の対象にはなりません。該当チームが10位以内となった場合、順位を繰り下げてブロック枠を配当します。
- ⑮ (公財)日本体操協会より推薦された選手及びチーム。
- ⑯ 出場所属団体名の記載は2所属*1まで可能とします。

4. 競技種目と競技方法

〔競技種目〕

	個人競技	団体競技
男子	スティック・リング・ロープ・クラブ	徒手
女子	フープ・ボール・クラブ・リボン	ボール5

〔個人競技〕

- ① 個人総合選手権は、4種目の得点合計により順位を決定します。
- ② 個人種目別選手権は、各種目の得点により順位を決定します。

〔団体競技〕

- ① 男子・女子とも自由演技のみとします。

5. 採点規則

〔女子〕(公財)日本体操協会 新体操女子2022-2024年版採点規則・ジュニアルールを採用します。

〔男子〕(公財)日本体操協会 新体操男子2022年版採点規則・ジュニアルールを採用します。

6. 表彰

個人総合選手権 1位 優勝杯・メダル・賞状／2位・3位 メダル・賞状／4位～8位 賞状
 個人種目別選手権 1位～3位 メダル・賞状／4位～6位 賞状
 団体競技 1位 優勝杯・メダル・賞状／2位・3位 メダル・賞状／4位～8位 賞状

※ 同点は同順位として表彰します

7. 2024年国際大会への予選通過について(女子)

(公財)日本体操協会新体操強化本部の強化方針に基づき、2024年度開催予定のジュニア国際大会派遣選手を選考します。

〔2024シニア国際競技大会〕

女子個人総合選手権上位3位の中学3年生以上である選手(次年度のシニア選手)を、シニア国際大会への代表候補選手とします。

8. 参加料 個人競技 15,500 円 団体競技 35,500 円

※日本著作権協会(JASRAC)規定による著作権料負担金を含みます。

9. 参加申込

- ① 締切期日 2023年10月18日(水) **17時59分まで**
- ② 申込方法 web 登録ページ (<http://jga-web.jp/>)にて手続きを行って下さい。

☆ 注意 ☆

参加料ご入金をもって、申し込み完了となります。

試技順抽選終了後の棄権については、参加料は返金しません。

振り込み控え書は各所属で大切に保管して下さい。申込確定後の変更・追加は受付しません。

10. 出場辞退について

- ① 出場資格を得た選手及びチームが本大会への出場を辞退する場合、10月18日までに辞退届を提出して下さい。
- ② 欠員が生じた場合でも繰上げや補充は行いません。

11. 試技順抽選について

抽選日 : 2023年10月20日(金)

※ **全ての試技順抽選は参加申込み時に大会本部へ委任したとし、大会本部((公財)日本体操協会事務局)のみで実施します。**

12. 運営に関する事項について

- ① 競技時程及び練習時程については、試技順抽選後に詳しくお知らせします。
- ② AD(Accreditation)カード*2は、大会関係者全てに発行されます。
- ③ 伴奏音楽について
演奏方法 : 伴奏曲の演奏はCDとします。(必ず予備を用意して下さい)
再生機器 : 伴奏音楽再生機器は大会本部が用意したものを利用して下さい。
- ④ 炭酸マグネシウムについて
各所属で持参した炭酸マグネシウムは、会場内の指定された場所にて使用して下さい。
- ⑤ 部旗・応援旗の掲示について
会場内掲示の旗は各所属1枚とし、その大きさは最大4㎡とします。また体育館側より「広告」と判断された応援旗につきましては広告料が発生しますので、大会本部・体育館・諸団体とで話し合い、処理させていただきます。なお、掲載方法については、試技順抽選終了後に連絡します。

13. 大会保険ならびに大会期間中の怪我について

- ① 協会の費用負担にて、参加選手に対して大会期間中スポーツ傷害保険をかけます。
- ② 発生した傷害の補償についてはスポーツ傷害保険の範囲とします。
- ③ 競技中の疾病、負傷に対する応急処置は主催者側で行いますが、その他の責任は負いません。
- ④ 大会参加者は健康保険証を持参してください。

14. その他

- ① Web 版プログラム掲載用演技写真の送付について
団体よこ長・個人たて長の JPG データ(100kb 以上)を10月18日までにメールにて送付して下さい。
【アドレス: shintaiso@jpn-gym.or.jp】件名には「ジュニア写真:所属名」を記載して下さい。
※用紙印刷されたプログラムは作成いたしません。
- ② 演技写真・映像撮影およびSNSによる広報活動について
(ア) 本大会は記録のため、写真と映像を撮影します。本協会が定める競技者規定第8条に従い、各選手の肖像利用に関しては大会参加申込みにより了解を得たものとし、また、出場選手の記録のため、本協会指定の写真販売業者が撮影した画像を出場選手とその関係者に限定して販売を行います。業者は決定後参加者に連絡いたします。また、大会期間中、総務委員会へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。
(イ) 公式練習中に限り演技のチェックとしてのビデオ撮影ができます。撮影はアリーナ内のみとし、観客席からの撮影は禁止とします。なお、撮影者は AD カード保持者のみとし、保護者などによる撮影はできません。撮影した写真・映像をインターネットなどへ掲載するなどの二次利用を禁止します。

(ウ) 競技普及や体操への人気拡大の目的で、本協会が定めるソーシャルメディア運用管理規定に基づく画像、映像の撮影やインタビューを依頼することがございます。撮影した画像、映像は協会ソーシャルメディア(公式HP、Twitter、Facebook、Instagram)に掲載いたします。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。また、大会期間中、大会事務局へこの事業への不参加を申し出て、関係者を含め、一切の自身の演技写真掲載や利用を禁止することができます。

③ 所属の車両乗り入れについて

- 本大会は出場選手輸送の為に大型バスのみ許可いたします。選手団で大型バスを利用しての来場をされる場合は、参加申込締切までに必ず申請して下さい。申請がない場合駐車はできません。
- アリーナ敷地内には、バスの乗り入れはできません。
- その他の車は体育館地下の有料駐車場を利用するか、城南立体駐車場(アリーナ HP 案内)をご利用下さい。駐車場の確保はいたしません。また駐車料金は各自払いとなります。

④ 新型コロナウイルス感染症対策が講じられた時は、ガイドラインに準じます。また状況により大会に変更が生じる場合があります。

付 録

* 1. 2所属記載の注意事項

(1) 学生(大学生・高校生以下)の**個人競技**参加者は出場資格を得た大会に関わらず、所属名を「学校名」または「クラブ名」のどちらかを選択できます。

- ① 大学・高校等とクラブで協議のうえ、両所属の承諾を得ることとします。
- ② 登録時に双方の所属に選手登録をしておいて下さい。登録の確認ができない場合は2所属表記できません。

※本協会への登録窓口となっている各都道府県体操協会登録窓口では、複数登録が可能となっています。

(2)(1)における所属の双方を表記することが可能です。

- ① 文字数に制限のある場合(競技帳票・得点表示板・場内放送や中継等における選手紹介・アナウンススポンサーによる肖像使用等)に、優先的に表記する所属を申告して下さい。
- ② ①における制限に対し、/で区切り、合計12文字以内の略称を申告することが可能です。
競技帳票・場内表示等に使用します。例:〇〇〇〇クラブ/〇〇高校
- ③ 団体競技に出場するチームの場合、双方の所属に全選手が登録されていることを条件とします。
※但し、予選通過チーム名のみ。予選大会に出場していないチーム名の表記は不可。
- ④ このほか制限が生じる場合、優先する表記を本協会と参加者合議の上決定します。

(3) 申し込み完了後の選手変更は原則出来ません。

* 2. ADカードの発行とゾーニング

- (1) 参加申込時に申請された選手・監督・コーチ・音楽係・トレーナーにのみADカードを発行しますので、会場では必ず見える位置に着用して下さい。
- (2) ADカード使用に際しては、不正使用のないようにして下さい。
- (3) ADカード発行者の**大会当日変更(例:コーチ変更)は認められません。**何らかの事情が生じ、変更が必要となった場合は、大会本部が定めた期限内(大会開催前)に理由を添えて申請して下さい。
- (4) 各所属へのADカードの発行枚数と条件は、以下の通りとします。

【個人競技:発行枚数と条件】

役 職	配布枚数	備 考
監督	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 「監督」とはチームの引率責任者のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した者のみに発行します。 ● 大会期間中は、選手団席以外の競技エリア*に入ることができません。 ● コーチ申請も可能です。 <p style="color: red; text-align: center;">※選手団席以外の競技エリアとは: 競技フロア(フェンス内)競技会場(メインアリーナ)練習会場(サブアリーナ)ウォーミングアップ会場のことです。</p>
コーチ	1枚~数枚 最高個人出場選手数分まで	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コーチ」とは帯同コーチ(各選手指導者)のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した者のみに発行します。 ● 申請できるコーチは選手1名につき1名までとします。 ● 公式練習時は、全ての競技エリア*に入ることができます。 ● 競技中は、競技フロア(フェンス内)以外の競技エリアに入ることができます。
選手	出場人数分	<ul style="list-style-type: none"> ● 出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚または2枚 同所属で複数選手が出場する場合は2枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 公式練習時及び競技中は、競技会場(メインアリーナ)と練習会場(サブアリーナ)の音楽席に入ることができます。※所属の音楽係を帯同しない場合は、コーチADまたは選手ADを着けた者が音楽をかけることができます。
トレーナー	1枚 ※要申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 申込み受付時に申請のあった場合のみ、発行します。 ● 公式練習時及び競技中は、競技フロア(フェンス内)外に待機して下さい。 ● 治療などを要する場合は、競技フロア(フェンス内)に入ることができます。

【各競技エリアにおける入場人数制限】

競技会場(メインアリーナ) [男女共通]選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内

練習会場(サブアリーナ) [男女共通]選手1名、コーチ1名、トレーナー1名、音楽係1名の4名以内

ウォーミングアップ会場 [男女共通]選手1名、コーチ1名、トレーナー1名の3名以内

〔団体競技：発行枚数と条件〕

役 職	配布枚数	備 考
監督	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 「監督」とはチームの引率責任者のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した者のみに発行します。 ● 大会期間中は選手団席以外の競技エリア*に入ることができません。 ● コーチ申請も可能です。 <p>※選手団席以外の競技エリアとは：競技フロア(フェンス内)、競技会場(メインアリーナ)練習会場(サブアリーナ)、ウォーミングアップ会場のことです。</p>
コーチ	最高2枚まで	<ul style="list-style-type: none"> ● 「コーチ」とは帯同コーチ(各選手指導者)のことです。 ● (公財)日本体操協会に指導者登録を完了した者のみに発行します。 ● 申請は、団体1チームにつきコーチ2名までとします。 ● 公式練習時は、全ての競技エリア*に入ることができます。 ● 競技中は、競技フロア(フェンス内)以外の競技エリアに入ることができます。
選 手	出場人数分	<ul style="list-style-type: none"> ● 補欠選手を含め、出場選手全員に発行します。
音楽係	1枚	<ul style="list-style-type: none"> ● 公式練習時及び競技中は、競技会場(メインアリーナ)と練習会場(サブアリーナ)の音楽席に入ることができます。※所属の音楽係を帯同しない場合は、コーチ AD または選手 AD を着けた者が音楽をかけることができます。
トレーナー	1枚 ※要申請	<ul style="list-style-type: none"> ● 申込み受付時に申請のあった場合のみ、発行します。 ● 公式練習時及び競技中は、競技フロア(フェンス内)外に待機して下さい。 ● 治療などを要する場合は、競技フロア(フェンス内)に入ることができます。

【各競技エリアにおける入場人数制限】
競技会場(メインアリーナ)

〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の12名以内

〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の10名以内

練習会場(サブアリーナ)

〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の12名以内

〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名、音楽係1名の10名以内

ウォーミングアップ会場

〔男子〕選手8名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名の11名以内

〔女子〕選手6名以内、コーチ最大2名、トレーナー1名の9名以内

【2024 年度から適用される事項について】
◆ 公認スポーツ指導者資格について

2019年4月の公益財団法人日本スポーツ協会(以下、JSPO)公認スポーツ指導者制度の改定に伴い、日本体操協会(以下、JGA)でも、健全なスポーツ界の発展に寄与するため、指導者育成の一環として公的資格の更なる普及に努めてまいります。そこで、2024年度より、JGA 主催の全日本選手権大会(体操競技・新体操・トランポリン)を対象として、監督・コーチをはじめ競技エリア内で指導や指導補助にあたる関係者には、JSPO 公認コーチ資格(コーチ3以上)またはJGA が認定する専門科目修了を義務付けることにいたしました。(JGA 日本体操協会 HP より引用)

◆ 炭酸マグネシウムの利用について

2024年度より各種大会における「炭酸マグネシウム」の利用廃止が決定しました。つきましては、2023年度はその移行期間として呼びかけ、または粉状の炭酸マグネシウムに代わるものを紹介する予定です。